

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科、電気通信工学科、建築・デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科							
科目名	英語I							
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	前期			
必修・選択の別	必修							
担当者	肥川 絹代							
授業の到達目標 (シラバスから)	<p>英語の基礎的な語彙、文法、用法を学ぶ。この科目では、英語の四技能のうち、とくにlisteningとspeakingに焦点をあてた授業をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の基礎レベルの語彙、文法、用法を理解し、使用することができる。 ・基礎レベルの英語を聞いて理解することができる。 ・基礎レベルの英語を用いて会話ができる。 							
日程と内容	<p>第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回 Unit 1 What's Your Favorite Band? 第3回 Unit 2 Monkeys Are Amazing! 第4回 Unit 3 Where's the Shark? 第5回 Unit 4 This Is My Family. 第6回 Unit 5 I Like Fruit! 第7回 Unit 6 What Time Do You Go to School? 第8回 中間まとめ 第9回 Unit 7 Can Squirrels Ski? 第10回 Unit 8 How Much Is This T-shirt? 第11回 Unit 9 What Are You Doing? 第12回 Unit 10 What's the Weather Like? 第13回 Unit 11 I Went to Australia! 第14回 Unit 12 What Do You Usually Do for New Year's? 第15回 後半まとめ 定期試験</p>							
成績評価基準	定期試験	40%	実技	0%	臨時試験	20%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	20%		
	演習	20%	計	100%				
授業到達目標の達成度	レベル別クラスの最下位であるが、積極的に取り組んでいる。Listening やspeakingでは、モデル会話を聞いてロールプレイをしたり、ディスカッションをしたりしていることから、目標は概ね達成できていると思う。							
反省点	運動部の学生が多いため、活気のあるクラスである。それ故に、おしゃべりも多くなる。この兼ね合い、バランスをうまくとっていきたい。 更に、英語が身近なものとなるように配慮したい。							
来年度の計画	小学生から英語が導入され、英語での授業も中学・高校で行われていく流れの中で、基本的なことを大切にしながらも、英語を通して得られる知を学生が獲得できるよう、知的刺激を与えていきたい。10年後、15年後を見据えた英語力を付けてもらいたい。そして多様性をもった文化への理解力も高めたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	毎回授業の初めに小テストを行い、それに基づいた問題を50%ほど、臨時試験・定期試験に提出することになっている。また、必修課題として、日記(英語)の提出や自宅学習の成果の提出をしてもらっている。したがって、真面目に学習をしている学生にとっては、英語学習への達成感が高いものと思う。授業評価は概ね良い評価をうけた。「わかりやすかった」や「英語を楽しみ始めるようになった」というコメントは教える立場としても励みになるものである。							
履修登録者数	44名	定期試験 受験者数	41名	合格者数	41名	合格率	100%	